

松井 康の

MatsuInfo



【プロフィール】

松井 康

昭和38年 1月23日生まれ 大阪府出身

1988 オーストラリアPGAツアーライセンス取得

1989 日本PGAツアーライセンス取得

1994 北海道プロ会 入会

密度などを含めた状態でのクッション性能を測る計測器です。これは、先端がゴルフボールと同じ半球を先端に持つ金属棒を、そのガイドである筒の中でグリーン面に落とし、そのへこみ具合から、硬さを測るというものです。これであれば、芝の葉から茎、根茎や芝の密度、グリーンの土や砂など、ボールが落ちるところのすべてを含めて、バンカーなども計測可能な計測器具で運営管理しています。スタートホールから18番グリーンまで全てのグリーンが速さと硬さが統一されるので選手がタッチを合わせられ超ロングパットが入るシーンが見られるのはこれによるものです。

近いうちに日本のゴルフツアーでも、このような計測器で管理されるようになると思います。

See you next (^_^) ☆

毎週土曜日札幌市内でレッスン会場が増えました。
毎週日曜日、山鼻ゴルフセンターでもレッスンが増えました。

詳しくは→ [松井プロゴルフスクール](#)

こんにちは、松井です。

4月第2週にメジャー初戦のマスターズゴルフが開催されました。開催前の注目は、バット・ワトソンの連覇か？世界ランク1位のローリー・マキロイのグランドスラムか？やはり1番の注目は、2月から戦列を離れていたタイガー・ウッズの大会直前の出場表明です。しかし開幕すると大会初日に最小ストロークの64を叩き出し、そのまま独走して、大会タイ記録の18アンダーで完全優勝したジョーダン・スピースでした。強いアメリカ人を好むアメリカはニューヒーローの誕生に湧いています。今年のオーガスタは夜に雨が降り、例年の様な速さと硬さが維持出来ず、ショットした球がグリーン上で止まり、バーディーと言うよりイーグル合戦で、優勝は10打程、来年度のシード権(15位以内)では5打近くのハイスコアでした。5年前の2011年も大会前週に大雨の日が何日も続き、速さは出せたが硬さは今年と同様でハイスコアな戦いが繰り返され、最終日66を叩きだしたシュワルツェルが優勝し、ローアマには松山くんが栄冠を得ました。

コースを難しくするには、フェアウェイを狭くシラフを長く、グリーン上では短く刈り込み硬くすると難易度は格段に上がります。USオープンがこのセッティングで大会を運営しますが、マスターズではグリーンのみで、14フィート(約4.3m)と言うから通常の倍の速さと、一般ゴルフ場ではコンパクション(硬さの表記)は8~9です。プロの大会では大体12~14、14以上になればピッチマークが付きません。テレビ映像で選手がピッチマークを直す姿をあまり見かけないので、柔らかいと言ってもその辺りなのでしょうね。

5年ほど前からマスターズでは「トゥルーファームメーター」という全米ゴルフ協会が開発した硬度計を採用しています。いずれもグリーン hardness だけでなく、芝や根茎、芝のへ

